

特別の教育課程の内容

- (1) 特別の教育課程の概要
- グローバル化が進むなか、本校の在籍生徒のうち約15%が帰国子女である。彼らの多くが英語を母語とし、本校インターナショナルコースに所属している。そのため、本校インターナショナルコースでは各教科指導を通して英語での教育を要する機会が多い。外国教員による授業を通して学習指導要領に沿った内容の一部を英語で学ばせ、現代社会の目指すグローバル教育の効果的な実施に繋げる。
- (2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性
- 本校は、昭和48年に海外帰国子女教育研究指定校となった。それ以降、多くの大使館が周辺に存在する土地柄もあり、帰国子女の受け入れを積極的に行ってきた。英語を母語とする生徒を受け入れ、学習指導要領の内容を英語で行い、国内大学への進学希望生徒へ効果的な教育を実施していく必要がある。また、昨今海外大学進学希望者も増える現状にある。海外の高校生と同等以上の英語力や英語での論理思考力等を中高時代に身につけさせ、各大学及び社会が必要とする国際人の資質を育てることを目的とし、インターナショナルコースを設置している。

2024年度 広尾学園教育課程特例校評価（自己評価）

評価項目	評価内容	評価
学習状況	中学・高校インターナショナルコースは、主に主要科目を外国教員より英語で学ぶ。 各教科の使用言語一覧下記資料 p.16参照 https://www.hiroogakuen.ed.jp/pamphlet/i/ 中学インターナショナルコースAG, SG, 高校インターナショナルコースにおける授業満足度を評価する。	
	[中学インターナショナルコースAG] 英文学・数学・理科・社会・美術・技術を外国教員から英語で学ぶ。 各教科の授業満足度は十分高かったか。 *評価結果は生徒による授業評価による5段階評価 A: 4.0~5.0 B: 3~3.9 C: 2.9以下	A
	[中学インターナショナルコースSG] 英語・美術・技術を外国教員から英語で学ぶ。 各教科の授業満足度は十分高かったか。 *評価結果は生徒による授業評価による5段階評価 A: 4.0~5.0 B: 3~3.9 C: 2.9以下	A
	[高校インターナショナルコース] 英語・美術・技術を外国教員から英語で学ぶ。 各教科の授業満足度は十分高かったか。 *結果は生徒による授業評価による5段階評価 A: 4.0~5.0 B: 3~3.9 C: 2.9以下	A
学習効果 進路実績含む	中学インターナショナルコースAG, SGは、高校進学時に3コース(本科/医進サイエンス/インターナショナル)から進学先を希望できる。希望コースへの進学には試験を伴う場合もある。 高校インターナショナルコースは、国内・海外問わず、志望校を各自決め準備を進める。 海外大学合格一覧 https://www.hiroogakuen.ed.jp/info/goukaku.html#kaigai	
	[中学インターナショナルコースAG] 中学インターナショナルコースAGから高校進学時に希望通りのコースに進学できたか。 *評価結果は各生徒の第一志望コースへの進学コース率で評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69以下	A
	[中学インターナショナルコースSG] 中学インターナショナルコースSGから高校進学時に希望通りのコース(本科/医進サイエンス/インターナショナル)に進学できたか。 *評価結果は各生徒の第一志望コースへの進学コース率で評価 A: 100~90% B: 89~70% C: 69以下	A
	[高校インターナショナルコース] 高校インターナショナルコース卒業時は、高校入学時より学力を伸ばすことができていたか。 *結果は中学3年10月実施のPSATの点数と高校3年卒業時のSATの点数の伸びで評価 但しPSAT(1520点満点)の時点で1400点以上であった生徒のデータは除く A: +200点以上 B: +199~100点以上 C: +99以下	A
情報発信	特例校実施について、学内外へ十分な発信ができていたか。 A: 十分達成 B: 達成 C: 不十分	B
評価実施	特例校実施効果をより高めるために、議論を頻繁に重ねたか。 A: 十分達成 B: 達成 C: 不十分	B